

# 法政大学の傾向と対策

## ★出題傾向について★

2021年入試から配点等に多少の変更はありますが、入試問題自体には大きな変化はないようです。関関同立や立教大学と同様に、日程別学部別に全くと言ってよいほど傾向はありません。つまり、“大学色”と言うモノが重視されることとなり、世界史入試のある5日間の過去問全体から出題傾向を読み取る必要があると言う、受験生としては多くの学部を併願することで、狙いやすさが高まるというシステムになっています。

## ★出題レベルと形式などの特色★

大問は3問。問題数は比較的多く60～70問。日程によって様々ではありますが、記述は2～3割程度・用語選択が3～4割（空所補充方式が半分）程度・文章選択が2～3割程度で、問題のレベルは比較的高いです。用語選択は基礎～標準レベルの一問一答で8割は十分とれますが、文章選択問題が手強いでしょう。

文章正誤問題は出題方式が多種にわたり、日程によってその形をいろいろ変えてきます。〈正しいもの・間違えているものを選べ〉〈すべて正しければ0にしなさい〉〈正しいものは何個あるか、個数を書きなさい〉など。また、誤文が年代の間違いや細かい出来事の順番の間違いなど、絶対に正解という自信が持てない問題が1～2問あります。ただ、ここ2年、正誤問題のレベルが下がり、解き易くはなってきました。過去問演習を行うときには凹まないように…しましょう。早稲田・明治・中央の正誤問題と同じレベルなので、頻出分野の正誤問題を前述された大学の過去問から探して、演習すると効果が高いと思われます。\*つまり、2～3割の正誤問題の正答率を上げれば、世界史で稼げるということになります。

また、いまだに“特殊テーマ史”（オリンピック史・万国博覧会史・交通機関の歴史・文字の歴史・暦の歴史など）や“各国・地域史”（ポーランド史・メキシコ史・イベリア半島史・セロン島史など）を頻繁に出題してきます。これは、立教大学の出題と類似し、長期の時代や地域を1つの大問で出題してくるという、現役生泣かせ（高校の定期テストが通用しない…）の出題方法です。勿論、通史知識力があれば7～8割は対応できますが、各国史&文化テーマ史をテーマ史問題集でこなしておくとなんか楽になることは間違いありません。

用語レベルとしては、明らかに年々易化しています。Aレベル（用語集赤字）は6～7割程度、Bレベル（頻度2～3）が2～3割、Cレベル（頻度1～掲載無し）が5%程度といったところです。世界史巧者は9割越えも十分に狙えますし、苦手者でも基礎力と対策で7割は越えられるので、英語・国語で落とさねば合格は勝ち取れます。

同配点又は150：100：100の日程では世界史で合格を取りにいけるという点で世界史巧者にとっては朗報ということになります。

## ★出題内容と狙い方★

西洋と東洋のバランスや古代～近代と近現代のバランスはまちまちですが、あまり偏ることはないで、時代・地域は満遍なく見ておきたいところです。ここ5年間は完全スライド出題になったため、過去5年間で同日程に出題された単元やテーマは少なく、昨年・一昨年・3年前に他学部で出題されているモノが狙われる傾向は確実です。スライドしやすい単元・テーマがいくつかあるので、6カ年のデータからしっかりと読み取っておきましょう。

出題内容の詳細としては…文章選択問題で〈法制〉〈貿易〉〈遊牧民〉〈事件〉〈戦い〉〈条約〉〈反乱・内乱〉などの正しい内容を聞いてきたり、有名人物の業績を選んだり、用語集を整理しながら読んでいるかが問われる問題が多いです。

また、年代も空所補充で出題されるほか、出来事の並べ替え、革命・戦争の流れ、政治変化の流れなどを正順させる問題も出題される。2～3問なので、高得点を狙わないのであれば無視しても良い。

\*出題されやすい単元・分野・テーマについては〈法政大学のナショナリズム〉を参照してください。

## ★全体的に…★

年によって、各日程の出題形式がコロコロ変わります。正誤問題が多い年、文章内空所補充が多い年などマチマチです。ですから、あまり、受験する日程の昨年の出題形式にとらわれることなく、臨機応変に回答できる気構えで本番を迎えましょう。空所補充は、選択肢の数が多いために迷いますが、まずは選択肢を見ずに、記述のつもりで解いていくと、案外すんなり解けるでしょう。他学部の過去問をでき限り多く説いて、慣れることが大切です。勿論、しっかりとスライド出題を当てることは大切です。

## ★入試日程と配点表★

2/05 全学部 T日程 … 世界史受験なし

**第1日目** 2/07 文(哲・日・史)・経営(経営)・人間環境

文学部(哲・日・文・史)	英100	国100	地歴100	☆
経営学部	英150	国100	地歴100	
人間環境学部	英150	国100	地歴100	

**第2日目** 2/08 法(国際政治)・文(英・地・心)・経営(戦略・市場)

法学部(国際政治学科)	英200	国100	地歴100	☆
文学部(英文・地理・心理)	英150	国100	地歴100	
経営学部	英150	国100	地歴100	

**第3日目** 2/09 経済(国際・ビジネス)・社(政策・メディア)・現代福祉

経済学部	英150	国100	地歴100	
社会学部	英150	国100	地歴100	
現代福祉学部	英150	国100	地歴100	

**第4日目** 2/12 経済(経済)・スポーツ健康・社(社会)

経済学部	英150	国100	地歴100	
社会学部	英150	国100	地歴100	
スポーツ健康学部	英150	国100	地歴100	

**第5日目** 2/16 国際文化・キャリアデザイン・法(法・政治)

法学部(法律・政治)	英150	国100	地歴100	
国際文化学部	英150	国100	地歴100	
キャリアデザイン学部	英150	国100	地歴100	

\*英語の配点が150, その他の2教科は100点。となると, 英語は勿論ですが, あと1教科ができれば受かるということ。国語が苦手ならば国語6割, 世界史8割。世界史が苦手ならば世界史は6~7割をとる勉強法(捨てる単元と絶対取る単元を決める)で国語を8割。合格のための勉強法を大切にしてください。ガムシャラにやる!の根性論に成功はありません。